

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.263)

1. 室蘭市議会議員による視察

1月20日(火)に、北海道PCB廃棄物処理事業の受入自治体である室蘭市から市議会議員ほか1名の方がご視察のため来所されました。

当事業所から、施設の解体撤去計画や現在の進捗状況、安全対策について説明し、最後に、見学者通路から解体撤去を進めている施設内の状況をご覧いただきました。

※当事業所では引き続き施設見学を受け付けています。ご希望の方は、裏面の「問合せ先」までご連絡ください。



2. 普通救命講習(心肺蘇生法とAED使用方法)を実施

当事業所は万が一に備えAEDを設置しており、所属員はAEDの操作や心肺蘇生を適切に行えるように、普通救命講習を2年ごとに受講しています。心停止から電気ショックまでの時間が、救命の成否を決定する最も重要な因子となります。2月から4回実施した講習では、意識がなく呼吸に異常がある場合は、周囲に助けを要請して、まずは救急車の要請と胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行うことを教わり、グループで役割を決め状況に合わせた救命措置を行う実技講習で対処方法を学びました。



胸骨圧迫をしながらAED装着準備の様子

3. 毎月21日は安全の日

毎月21日を『安全の日』と定め、常に安全が最優先であることをJESCO社員と運転会社社員に周知・徹底しています。

1月21日(水)の安全集会では、JESCO所長から「周辺19自治区へ新年のあいさつを兼ね、解体撤去の現在の状況等について説明をしました。自治区からは、安全に解体撤去工事を進めている事に対し、ねぎらいの言葉をいただきました。」との話がありました。

あらためて周辺住民の方々のご理解により、この事業が成り立っていることを再認識し、解体撤去工事を安全最優先で実施していくことへの思いを更に強くしました。



4. 解体撤去工事の進捗状況について

【高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事】

当事業所では、コンデンサー自動解体ラインの解体撤去に続く先行解体撤去工事として「高濃度PCB取扱エリア等解体撤去工事(解体対象設備重量:約730t)(工期:令和7年10月から令和9年6月)」を実施しています。

現在は、3月から開始する本格解体撤去工事前の事前準備作業として、仮設工事事務所等の設置や現場確認、作業員の安全教育等を行っています。



仮設工事事務所の設置状況



安全衛生協議会で紹介された安全の塔

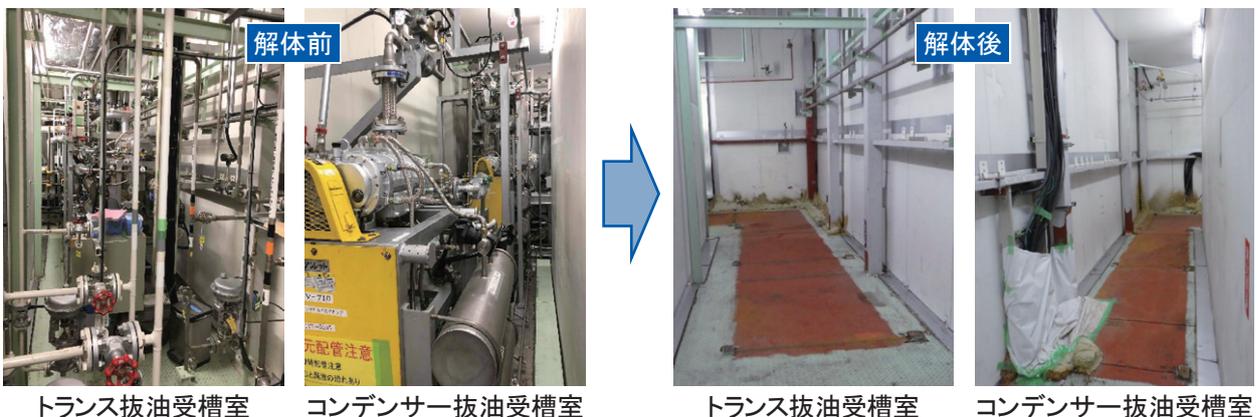
また、事故なく安全に解体撤去工事を進めて行くため、本工事の関係者を集めて安全衛生協議会を開催し、労働災害の防止やPCBを施設外に出さない等規則の確認を行っています。

併せて、過去の解体撤去工事と同様に、労働安全衛生を啓発するための安全の塔や安全ボードの設置、併せて作業者の意見を投函できる目安箱の設置等も紹介されました。

本安全衛生協議会は、今後も月に1回開催し、工事関係者と連携を取りながら工事を進めてまいります。

【トランス・コンデンサー抜油受槽室解体撤去工事】

トランス・コンデンサー抜油受槽室は当事業所の処理棟内で特に狭隘な場所に設置されており、設備の撤去・搬出にあたっては、非常に細かく裁断する必要があるため、長時間の切断作業により作業員がPCBに曝露されるリスクが高くなります。そのため、十分な暴露防止対策を講じて安全第一に工事を進めました。今後も様々な条件に的確に対応し、安全に解体撤去工事を進めていきます。



トランス抜油受槽室

コンデンサー抜油受槽室

トランス抜油受槽室

コンデンサー抜油受槽室



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

